

みなさん、修学旅行の準備は進んでいますか？

今回は、第2号で紹介されていた二二八記念館に関わる二二八事件について、取り上げてみたいと思います。

～第二次世界大戦後の台湾～

1945.8. 日本の敗戦→日本、中国より撤退→台湾は**中華民国政府**統制下に

二二八事件 1947.2.28

終戦後、台湾の人々は、日本の支配から解放され祖国復帰を心から喜び、**光復**と呼んだのもつかの間、大陸からやってきた**中華民国政府**の腐敗と墮落に驚き失望した。役所では汚職がはびこり、軍隊は規律がなく、また、「試験によって公務員を採用する」と約束したが、試験は北京語で行われたため、北京語のできない台湾人は事実上排除された。戦後、台湾には中国大陆からやってきた軍人や警官がたくさんいたが、1946年11月違法行為を行った警官を逮捕しようとした台湾人の検察官が逆に襲撃される事件が起き裁判にはなったが、主犯格の警官は無罪になった。いつしか「犬(①)がいなくなって豚(②)が来た」「日本精神(リップンチェンシン)」という言葉が言われるようになり、外省人(戦後台湾に来た漢民族)と本省人(台湾の漢民族・台湾先住民・彼らの子孫)の対立が先鋭化していった。

2月27日**闇タバコ売りの女性**(40歳2人の子供あり)を**中華民国**の官憲が摘発した。女性は土下座して許しを乞うたが、取締官は銃剣の柄で殴打し、商品・売上金を没収したため、多くの台湾人が女性に同情して集まった。すると、取締官は民衆に発砲。全く無関係の台湾人が流れ弾に当たって死亡。取締官は警察局に逃げ込んだ。人々は警察局に殺人犯の逮捕と処罰を求めるが、はねつけられ、翌**2月28日4000人以上の人々**が集まり、**行政長官公署(現台湾総統府)**に向かったところ、長官公署の屋上から突然**機関銃**が火を噴き、多くの人々が死傷した。

このため、台湾市民の一部が台湾放送局に押し入って、**ラジオで圧政に抗議し立ち上がろう**と呼びかけたため、抗議行動はまたたく間に全島に広がり**3月2日台北市で二・二八事件処理委員会**が自主的に組織され、行政長官陳儀と交渉し、今回の事件参加者の責任を追及しない、死傷者に補償することを約束させ、さらに長官公署を省政府に改編し、県・市長などの選挙、つまり台湾の自治を認めさせた。ところが、すでに陳儀は**鎮圧軍を蒋介石に要請**していた。

3月8日 国民党軍の軍艦が大砲を撃ちながら、基隆港に入港。**3月9日 全土に戒厳令**(1987年まで続く)が敷かれた。政府軍による虐殺が繰り返され、**2万人以上**がその犠牲となった。一部の逮捕者は見せしめのために大衆の前で銃殺され、遺体の引き取りも禁止された。台湾人のなかでも、特に旧日本軍人や知識人(含ジャーナリスト)が狙われ、のちの台湾の文化・経済に深刻な影響を与えることとなる。

文中の①②の解答・・・①日本人 ②中国人



台湾にこのような事件があったことを知った上で、二二八記念館を訪れてください。決して浮かれた気分で見学して良い場所ではないのです。

このほか、紹介できていない場所がまだあるので、裏面に紹介します。

○忠烈祠・・・3日目

抗日戦争や革命のために戦死した中華民国将兵などの霊を祀る。1969年に創建された。正時ごとに行われる正門の衛兵の交替式が観光客に人気である。が、撮影する際は節度ある行動を心掛けよう。

○國立故宮博物院・・・3日目

所蔵品の数は約60～70万点。中国の古代から皇帝によって集められた高品質のもの。戦火から守るべく紫禁城の宮殿に所蔵されていたものが運び出され、幾多の経緯を経て、その中でも精選されたものが現在台北の國立故宮博物院に所蔵、展示されている。

・見学のアドバイス・・・館内への荷物の持ち込みは原則禁止。写真撮影も禁止。飲食の持ち込みも不可。展示は原則として3階から時代ごとに順を追っていく形。だがすべて観るには時間が足りないので、ところどころで足を止める程度にしよう。